

時間割番号: 2351000014					
専門演習 I					
 担当教員					
得田 雅章[Masaaki Tokuda]					
 開講学部等	経済学部	 対象年次		 単位数	2
 開講時期	春学期	 開講曜時	未定	 クラス	

授業の目的と概要

- ・マクロ経済に関するデータ分析(計量経済学を用いた実証分析)をしていきます。
- ・分析にはEViewsという計量分析ソフトを用います(本学導入済み)。
- ・分析と並行してマクロ金融経済の仕組みを深めてもらいます。
- ・マクロ金融・経済の動向をとらえるための計量モデルの構築、テスト、予測、シミュレーション等をわかりやすく解説し、経済のダイナミズムを目に見える形で理解してもらいます。並行してPCを活用した学習環境の構築を促します。
- ・日本は経済立国です。マクロ経済分析を通じて日本のしくみを理解することで、今後の人生の展望が開けるようサポートしていきます。

授業の到達目標

就職活動時に役立つよう、前倒して卒論に関する取り組みを始めてもらいます。
専門演習 I での目標は2つ。

1. 計量分析ソフトEViewsの基礎操作をマスターすること
2. 卒業論文の「タイトル」、「分析手法」、「分析領域」を確定した期末レポート(30枚相当)を作成することで、卒業論文執筆の基礎付けを行うこと
であります。

授業計画

回 内容

- 01 イントロダクション(1)、顔合わせ
 - 02 イントロダクション(2)
 - 03 卒論テーマ・分析手法・分析領域に関する1次報告、EViews基本操作(1)
 - 04 卒論テーマ・分析手法・分析領域に関する1次報告、EViews基本操作(2)
 - 05 卒論テーマ・分析手法・分析領域に関する1次報告、EViews基本操作(3)
 - 06 EViews関連書籍輪読、EViewsエクササイズ(1)
 - 07 EViews関連書籍輪読、EViewsエクササイズ(2)
 - 08 EViews関連書籍輪読、EViewsエクササイズ(3)
 - 09 EViews関連書籍輪読、EViewsエクササイズ(4)
 - 10 EViews関連書籍輪読、EViewsエクササイズ(5)
 - 11 卒論テーマ・分析手法・分析領域に関する2次報告(1)
 - 12 卒論テーマ・分析手法・分析領域に関する2次報告(2)
 - 13 卒論テーマ・分析手法・分析領域に関する2次報告(3)
 - 14 まとめ、期末レポート提出、以後の学習へのアドバイス
- ※ゼミ生の人数や理解度に応じ、計画を変更する場合があります。

授業計画の補足(予習・復習や参考資料など)

EViews学生版の購入を勧めます。

成績評価の方法

全演習出席が前提です。そのうえで①報告内容、②議論への参加度・理解力・提言力、③卒論テーマに関するレポートで評価します。

成績評価の基準

出席必須、課題提出40%、期末レポート60%をもとに総合的に評価します。
積極的な受講態度が見受けられない場合は減点、あるいは欠席扱いにします。遅刻も同様です。

教科書

教科書1	ISBN	4535554374			
	書名	EViewsによる経済予測とシミュレーション入門			
	著者名	飯塚信夫・加藤和久	出版社	日本評論社	出版年

参考書

--	--	--	--	--	--

参考書1	ISBN	4535554978				
	書名	例題で学ぶ初歩からの計量経済学				
	著者名	白砂, 堤津耶(1957-)	出版社	日本評論社	出版年	2007.3
参考書2	ISBN	4915787451				
	書名	計量経済学				
	著者名	山本拓	出版社	新世社	出版年	1995.4
参考書3	ISBN	4811543122				
	書名	計量経済学				
	著者名	養谷千鳳彦	出版社	多賀出版	出版年	2003.4

教材に関する補足情報

参考文献一覧

・EViews関連書籍
 ・日本のマクロ金融経済に関する書籍
 演習中に適時提示します。

履修上の注意事項

ゼミには作成したファイルを保存できるUSBメモリ等を用意しておいてください。また、前回までに使用・作成したファイルも持ってきてください。

エクセル操作の熟達

ゼミで使用する計量分析ソフトはEViewsですが、データの収集や整理の過程ではエクセルを活用します。必要最低限の操作法は講義中に教えますが、エクセル初心者はある程度、自分で学習したほうが講義での効率は格段に上がります。

キーワード

マクロ経済モデル、予測、シミュレーション

備考

“自ら”問題点を発見→分析→報告→議論、を繰り返す中で優れた論文が出来上がります。この一連の過程を習熟することで立派な社会人としての素養が身に付くでしょう。本ゼミに参加する学生にはそのためのバックアップを惜しみません。

参照ホームページ

教員からの一言

オフィスアワー

火曜日の昼休み(12:00~12:50)

連絡先(研究室他)

434室

連絡先(電話番号)

連絡先(メールアドレス)

m-tokuda@biwako.shiga-u.ac.jp

ホームページ

<http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/sensei/m-tokuda/>

備考(教員情報)

電子メールにて